

子供達の優しさ

私が教育委員会で、担任の暴力に始まった学校の教師達の言動を明白にする日の前夜、長男に「明日は先生をみんなの前で怒ってくるからね」と言うと、「やめて！！みんなの前で怒ったら、先生が可愛いそうだから！」と長男は言ったのです。

自分が死にたくなるほど辛い目に合わせた教師を思い遣るなんて…。と私は長男の言葉に驚きました。

当時、私が代表になった大きな催しの準備にご飯を食べる時間もないほど忙しくしていた時、次男は親子丼と麦茶を用意して、お盆に乗せて運んで来てくれました。

優しい笑顔を添えて…。

長男は、私が疲れて眠り込んでしまっていた時に、テレビで台風接近のニュースを見て、黙って一人で家中の雨戸を閉めて回ってくれていました。

古くて大きな、9部屋もある二階建ての家でした。

一度も雨戸の事を教えていなかったのに、母子家庭でしたから、12歳だった長男は「僕が守らなければ…」と思ったようです。

その時の台風はとても大きくて、我が家も屋根瓦が何枚も吹き飛んだり、とたん屋根は全壊したりしてしまいました。

長男が全ての雨戸を閉めてくれなかったら、どんな大変な事になったか分からなかったのも、心から感謝しました。